



# 池田小だより

6月号 No. 3

新座市立池田小学校 令和4年5月31日(火)  
学校のキャッチフレーズ  
「やる気・ゆう気・げん気あふれる学校 池田小」

## 五月雨の6月に

校長 鶴田千尋

授業参観及び個人面談への御理解・御協力ありがとうございました。貴重な御意見や様々な情報をいただきました。今後の学校・学級経営などに活かして参ります。

また、今週末には修学旅行が予定されており、感染防止対策に努めながら全行程を実施いたします。子供たちにとって有意義な、思い出深い活動になるよう期待しています。

### 梅雨の良いところは

6月になろうかというここ数日は、曇ったり、雨が降ったり、晴れたり…不安定な天候が続いて、ちょっと憂鬱に感じられます。

6月は旧暦では水無月と呼ばれ、その名のおり「水の月」です。

※「無」は「ない」ではなく「の」の意味だそうです。

梅雨という雨の続く季節（正に水の月）にぴったりの名称です。梅雨と聞くと、長雨、ジメジメ、不快指数が高いなどのイメージがあり、あまりよい印象はありません。雨が続き、子供たちは外に出られず、教室内で過ごしていることが多くなります。水泳の授業は、ちょうどこの頃から開始されますが天候に左右されがちです。なかなかプールに入れない。入れても気温・水温が上がらず寒いということもしばしば。さらに近年は、なんとなく体がだるい、頭が痛い、やる気が出ないなど、体の不調を訴える子供が増える傾向にあり体調管理の難しさもあります。

しかし、いやなことばかりではありません。梅雨時の雨の多い日々でよいこともあります。例えば、ダムなどの水源が潤うということがあります。空梅雨で水不足になったことも何年か前にありました。また、雨音には「癒やし効果」があるともいわれています。雨音がストレスを解消してくれます。他にも、のどなど乾燥対策や紫外線対策、花粉の飛散対策になるなどの効果もあります。子供たちも、教室で静かに落ち着くことができたり、ゆっくりと1日をすごすことができたりするなどのメリットもあります。ものは考えようです。

物事には、様々な側面があります。見方によって良くも悪くもなるものです。狭い視野で一つの考えに固執することなく、広い視野で柔軟に考えていきたいものです。

### 池田小50歳

今月15日は開校記念日、池田小学校の誕生日です。ちょうど50年前の昭和47年6月15日に新しく学校を造るため、現在の学校のあるこの場所で地鎮祭を行ったことから池田小の歴史は始まります。翌昭和48年4月1日から新しくスタートしました。

学校も、節目の50歳です。少し先になりますが、11月に盛大50周年式典を行います。池田小50歳をお祝いする予定になっています。さらに、コロナ禍が収束して盛大にお祝いできることを願うばかりです。



池田小創立50周年記念  
キャラクター「いけぼん」

新座市立池田小学校  
〒352-0015 新座市池田4-8-49 (HP) <http://www.c-niiza.ed.jp/e-ikeda/>

